

学位に付記する専攻分野の名称の在り方検討分科会
報告書構成案について

現在案		修正案
1. はじめに (1) 審議の経緯 (2) 本報告書の射程 (3) 学術会議の立場		・「(1) 審議の経緯」を中心に残すこととし、 他は大幅に記述を整理する。(廣田)
2. 学位名称問題の現状と課題 (1) 学位に付記する専攻分野の名称の 多様化傾向 (2) 多様化の誘因 (3) 大学の情報公開の促進		・新しい3との整合性に留意しつつ内容を精査 する。(濱中)
		3. 問題状況に対する基本認識 ・2との整合性に留意する。(廣田)
3. 日本の学位制度の変遷		・提言の本文ではなく資料編に位置付ける。 ・完成するための作業負担が大であれば割愛も 可。(吉川)
4. 学位に付記する専攻分野の名称と 教育課程との関係		・基本的に割愛する。 (必要な範囲で新しい4で述べる。)
		4. 学位に付記する専攻分野の名称の在り方 ・(日本語での) 標記の在り方について、新しい 3を踏まえつつ、8(1)の内容を移管して 完成する。(吉川)
5. 欧米主要国における学位の構造と 名称及び国際通用性		・新しい5に内容を移管する。(吉川)
6. 日本学術会議が定める「分野別の教 育課程編成上の参照基準」の基本方針 との関係 各学問分野に固有の特性 すべての学生が身に付けるべき基 本的な素養		・基本的に割愛する。 (必要な範囲で新しい3で述べる。)
7. 学位名称の在り方を理念から考える		・必要な範囲で内容を新しい3及び4に移管す る。 ・各大学が教育課程を編成する際の留意点とし て、普遍性を志向する要素のみ強調されてい ることは一考を要する。 ・また「体系的なカリキュラム」と称する場合 の体系性も、分野によって大きな差異がある ことの確認は重要。(以上吉川)
		5. 学位の英文表記の在り方 ・8(2)の内容を移管して完成する。(吉川)
8. 学位に付記する専攻分野の名称の 在り方に関する提言 (1) 和文名称の表記方法 (2) 英名表記に関するルール化		・新しい4と5に内容を移管する。
		おわりに ・本田委員長によるまとめ。(原案吉川)
		資料編 ・いままでの関連資料をまとめる。(森)